



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6090 URL http://humanmetabolome.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅野 隆二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 長谷川 哲也 TEL 03-3551-2180  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	307	12.4	△228	—	△227	—	△227	—
29年3月期第2四半期	273	△8.6	△143	—	△157	—	△158	—

（注）包括利益 30年3月期第2四半期 △226百万円（-％） 29年3月期第2四半期 △153百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△39.20	—
29年3月期第2四半期	△28.27	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,816	1,646	89.5
29年3月期	2,022	1,859	91.4

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 1,625百万円 29年3月期 1,847百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	980	7.2	△294	—	△292	—	△293	—	△50.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	5,816,600株	29年3月期	5,809,700株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	5,811,055株	29年3月期2Q	5,611,201株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、平成29年11月20日（月）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の政治動向や北朝鮮情勢等を巡る地政学リスクなどが懸念されるものの、米国経済を中心に堅調に推移しました。国内においても、企業収益や雇用環境等の改善が続き、緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループが属するライフサイエンス業界においては、医療・介護の効率化に向け、予防医療や個別化医療を推進する動きが増え、健康管理等へのニーズが世界的に高まっています。

このような状況の中、当社グループでは、メタボローム解析事業において、学会への出展やキャンペーンといった販促活動を中心に受注拡大に取り組むとともに、海外市場の拡大や新サービス開発等に注力してまいりました。

また、バイオマーカー事業においては、大うつ病性障害（以下「うつ病」といいます。）バイオマーカーの事業化に向け、研究用試薬キット及び測定機器の開発並びに臨床研究に向けた取り組みを推進しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、メタボローム解析事業の受注・販売が好調に推移したことを背景に307,560千円（前年同期比12.4%増）となりました。一方で、うつ病バイオマーカーの事業化に向けた取り組みを継続したことや、メタボローム解析の新サービス開発を推進したこと等から営業損失は228,648千円

（前年同期は143,262千円の営業損失）、経常損失は227,165千円（前年同期は157,710千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は227,791千円（前年同期は158,623千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

#### ① メタボローム解析事業

当事業セグメントにおいては、前期に引き続き積極的な販促活動を展開し、化学・製薬分野等において大口案件の受注拡大に取り組んだ他、新サービス開発を目的として組織体制や設備を強化しました。海外においても大口案件獲得に取り組み、米国を中心に製薬・臨床分野からの受注が増加した他、欧州やアジア圏の市場拡大に向けた活動も活発に行いました。この結果、売上高は307,549千円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は66,636千円（前年同期比20.0%減）となりました。

なお、当社グループのメタボローム解析事業は、季節的な要因として多くの顧客の年度末にあたる当社第4四半期連結会計期間に売上高、利益ともに大きくなる傾向にあります。

#### ② バイオマーカー事業

当事業セグメントにおいては、うつ病バイオマーカーの実用化・事業化に向け、研究用試薬キットの販売開始を念頭に、当該試薬の性能評価や測定機器等の研究開発を継続しました。また、うつ病バイオマーカーを用いた臨床研究に向け、提携医療機関との体制整備等に取り組みました。この結果、売上高は10千円（前年同期比97.8%減）、セグメント損失は106,445千円（前年同期は72,610千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,583,280千円となり、前連結会計年度末に比べ251,393千円減少しました。これは、現金及び預金が217,513千円、売掛金が44,944千円減少したこと等によるものであります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は233,418千円となり、前連結会計年度末に比べ46,044千円増加しました。これは、工具、器具及び備品が47,203千円、無形固定資産が3,176千円増加し、有形固定資産の減価償却累計額が17,832千円、リース資産が22,886千円減少したこと等によるものであります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は117,594千円となり、前連結会計年度末に比べ27,924千円減少しました。これは、リース債務が6,630千円増加したものの、未払法人税等が27,308千円減少したことに加え、その他に含め表示している未払消費税等が減少、未払費用が増加したこと等によるものであります。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は52,473千円となり、前連結会計年度末に比べ35,359千円増加しました。これは、リース債務が36,496千円増加したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,646,630千円となり、前連結会計年度末に比べ212,783千円減少しました。これは、新株予約権が8,900千円、資本金が2,301千円、資本剰余金が2,301千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失227,791千円を計上したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ217,513千円減少し、1,402,828千円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは188,865千円の支出（前年同期は89,645千円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失227,165千円、減価償却費26,367千円の計上、売上債権の減少45,284千円、法人税等の支払額23,324千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは28,422千円の支出（前年同期は26,252千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出24,229千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは98千円の支出（前年同期は344,138千円の収入）となりました。これはリース債務の返済による支出4,610千円、株式の発行による収入4,512千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、例年第4四半期連結会計期間に収益が偏る傾向にありますが、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、予想の範囲内で推移しております。また、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましても、現在のところ重要な変更事項はありません。そのため、通期の業績予想につきましては、平成29年5月10日公表のとおりといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,520,341	1,302,828
売掛金	167,420	122,476
有価証券	100,000	100,000
商品	11,232	16,202
仕掛品	2,915	2,631
原材料及び貯蔵品	8,625	7,371
その他	24,138	31,771
流動資産合計	1,834,673	1,583,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,755	21,735
工具、器具及び備品	287,500	334,704
リース資産	108,061	85,175
減価償却累計額	△343,452	△325,620
有形固定資産合計	71,865	115,994
無形固定資産	4,480	7,656
投資その他の資産		
投資有価証券	101,062	100,625
その他	9,966	9,141
投資その他の資産	111,028	109,767
固定資産合計	187,373	233,418
資産合計	2,022,047	1,816,698
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4	—
リース債務	2,749	9,379
未払法人税等	35,244	7,936
その他	107,521	100,278
流動負債合計	145,519	117,594
固定負債		
リース債務	—	36,496
繰延税金負債	3,354	2,154
資産除去債務	13,760	13,823
固定負債合計	17,114	52,473
負債合計	162,634	170,068
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,447,484	1,449,785
資本剰余金	1,436,200	1,438,501
利益剰余金	△1,048,587	△1,276,379
株主資本合計	1,835,097	1,611,907
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,245	13,751
その他の包括利益累計額合計	12,245	13,751
新株予約権	12,070	20,970
純資産合計	1,859,413	1,646,630
負債純資産合計	2,022,047	1,816,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	273,670	307,560
売上原価	82,919	89,604
売上総利益	190,750	217,955
販売費及び一般管理費	334,013	446,604
営業損失(△)	△143,262	△228,648
営業外収益		
受取利息及び配当金	463	456
補助金収入	318	—
受取賃貸料	—	1,500
その他	28	919
営業外収益合計	810	2,875
営業外費用		
支払利息	276	214
為替差損	10,657	1,083
株式交付費	4,324	90
その他	—	3
営業外費用合計	15,258	1,392
経常損失(△)	△157,710	△227,165
税金等調整前四半期純損失(△)	△157,710	△227,165
法人税、住民税及び事業税	2,121	1,825
法人税等調整額	△1,208	△1,199
法人税等合計	912	625
四半期純損失(△)	△158,623	△227,791
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△158,623	△227,791

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純損失（△）	△158,623	△227,791
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,522	1,506
その他の包括利益合計	5,522	1,506
四半期包括利益	△153,100	△226,285
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△153,100	△226,285
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△157,710	△227,165
減価償却費	26,030	26,367
受取利息及び受取配当金	△463	△456
受取賃貸料	—	△1,500
支払利息	276	214
為替差損益(△は益)	820	1,222
株式交付費	4,324	90
補助金収入	△318	—
株式報酬費用	1,724	8,900
売上債権の増減額(△は増加)	31,496	45,284
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,673	△3,432
仕入債務の増減額(△は減少)	82	△4
前払費用の増減額(△は増加)	△10,072	△10,156
前受金の増減額(△は減少)	20,089	△8,794
未払費用の増減額(△は減少)	13,654	14,327
未払又は未収消費税等の増減額	△18,638	△15,708
その他	△2,178	3,158
小計	△89,209	△167,653
利息及び配当金の受取額	916	890
賃貸料の受取額	—	1,500
利息の支払額	△262	△214
補助金の受取額	1,000	489
補助金の返還額	△24	△552
法人税等の支払額	△2,064	△23,324
営業活動によるキャッシュ・フロー	△89,645	△188,865
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,156	△24,229
無形固定資産の取得による支出	△3,395	△4,260
その他	298	66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,252	△28,422
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△8,520	—
株式の発行による収入	363,551	4,512
リース債務の返済による支出	△10,892	△4,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	344,138	△98
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,032	△126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	235,273	△217,513
現金及び現金同等物の期首残高	1,252,522	1,620,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,487,795	1,402,828

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期会計期間より、新たに設立したHuman Metabolome Technologies Europe B.V. を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	273,190	480	273,670
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—
計	273,190	480	273,670
セグメント利益又は損失（△）	83,293	△72,610	10,683

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	10,683
全社費用（注）	△153,946
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△143,262

(注) セグメント利益の全社費用△153,946千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	307,549	10	307,560
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—
計	307,549	10	307,560
セグメント利益又は損失（△）	66,636	△106,445	△39,808

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△39,808
全社費用（注）	△188,839
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△228,648

（注）セグメント利益の全社費用△188,839千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

（重要な後発事象）

（ストックオプションとしての新株予約権の発行）

当社は、平成29年9月20日開催の取締役会において、当社の監査等委員以外の取締役、監査等委員である取締役及び使用人並びに当社子会社の取締役及び使用人に対し、ストックオプションとして新株予約権を発行することを決議し、平成29年10月5日に発行いたしました。

(1) スtockオプションとしての新株予約権を発行する理由

当社の業績向上及び企業価値増大に対する意欲や士気を高めるため

(2) 新株予約権の発行要領

①新株予約権の発行日

平成29年10月5日

②付与対象者の区分及び人数

当社監査等委員以外の取締役 5名、当社監査等委員である取締役 3名、当社使用人 24名、当社子会社の取締役 1名、当社子会社の使用人 3名

③新株予約権の発行数

725個

④新株予約権の払込金額

金銭の払込みを要しないものとする。

⑤新株予約権の目的となる株式の種類及び数

当社普通株式72,500株（新株予約権1個につき100株）

⑥新株予約権の行使時の払込金額

1株につき1,682円

⑦新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金の額

i) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果生じる1円未満の端数は、これを切り上げるものとする。

ii) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記i)記載の資本金等増加限度額から上記i)に定める増加する資本金の額を減じた額とする。

⑧新株予約権の行使の条件

新株予約権者が新株予約権を放棄した場合には、当該新株予約権を行使することができない。

⑨新株予約権の行使期間

自 平成31年10月6日 至 平成36年10月5日

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	917	82.8
合計	917	82.8

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、メタボローム解析事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボローム解析事業、バイオマーカー事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	9,724	307.3
合計	9,724	307.3

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、メタボローム解析事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボローム解析事業、バイオマーカー事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	511,723	120.9	313,191	125.0
バイオマーカー事業	1,810	377.3	1,800	—
合計	513,534	121.1	314,991	125.7

(注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	307,549	112.6
バイオマーカー事業	10	2.3
合計	307,560	112.4

(注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。